# Contents

## ［修士研究報告］


精神障害者の地域移行についての一考察
― ホームヘルプサービスの視点から ―
岩佐 泰子（生活健康科学プログラム） 6

江戸中期以降における民衆教育の研究
― 越後新発田藩の事例を中心として ―
大山 正義（人間発達科学プログラム） 15

弁護士のキャリアを支持・援助するものとは
― TEMを介した当事者語りとその解釈的現象学的分析から ―
菅原 直美（臨床心理学プログラム） 25

カサンドラ症候群を訴える女性の自己の問い直しと生成のプロセス
茶円 典枝（臨床心理学プログラム） 33

生活困窮者の生活課題の取り組みにおける自己形成支援のあり方
星加 敦子（臨床心理学プログラム） 42

労働法で貨物軽自動車運送自営業者を保護する可能性
椎橋 庸二（社会経営科学プログラム） 52

隠岐で語られた浦島系孤立伝承「白島の赤法印」
― モチーフ分析と実地調査から浮き彫りになった伝承の姿 ―
石橋 直子（人文学プログラム） 61

看図アプローチを活用したライティングの実践研究
― ２つの授業実践における学習者個人の経時的観察からの考察 ―
江草 千春（人文学プログラム） 70

光格天皇と雅楽
― 奏楽する天皇の実像とその意味 ―
清水 淑子（人文学プログラム） 81

イギリスファシスト連盟およびオズワルド・モーズレーによる
非合理主義的美学要素の政治的利用の分析
竹本 智志（人文学プログラム） 89

ネパール人留学生にとって日本留学とは何か
― 元留学生へのインタビュー分析からの一考察 ―
田所 瑞絵（人文学プログラム） 97

八代集における「こころ」の表現と心の構築
― 空間化・実体化比喩を中心に ―
鳥越 隆士（人文学プログラム） 105

近づけ・軽んじ・遠ざける，呼称「ちゃん」の考察
― ジェンダーとパワーの観点から ―
濱野 綾（人文学プログラム） 113

中学生の雑談に見る自他意識
― 会話における役割性の観点から ―
堀井 智栄子（人文学プログラム） 123

フランスのショアーの歴史学はなぜ今日も発展し続けているのか？
― 冷戦終結後の史学史的研究 ―
村上 良太（人文学プログラム） 132

地域社会における日本語学習支援活動者の意識に関する研究
― 神戸市と吹田市のボランティア団体を通して ―
森山 孝子（人文学プログラム） 140

大江健三郎研究
―「手紙」を通じての解釈 ―
安井 茂雄（人文学プログラム） 149

地域特性を生かした脱炭素社会実現への取り組み方法の研究
― ZEBデータの有効活用 ―
菊地 真（自然環境科学プログラム） 158

星形成銀河と活動銀河核の進化　及び
死んだクェーサー問題とダウンサイジングに関する研究
住江 伸吾（自然環境科学プログラム） 167

『方丈記』終末部分における長明思想の解明
大野 浩（人文学プログラム） 215

［修士研究短報］

日本語教育における「女ことば」
― 女性文末詞の使用に着目して ―
髙木 敬子（人文学プログラム） 178

YMOと，その時代。
― 1978年～1984年，ポップカルチャーについての考察 ―
中村 元信（人文学プログラム） 183

［博士課程研究論文］

化粧習慣形成と化粧支援の役割
村上 有美（人間科学プログラム） 190

奈良時代の売券における価・直と価直
福田 美詠子（人文学プログラム） 198

2025年度教育研究活動委員会
オンラインジャーナルワーキンググループ 217
編集後記 218